

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：82

問題あり：2

要確認：0

問題なし：80

詳細な検証結果

1. 固有名詞

人名・読み仮名

- 記載内容：「木戸口英司（きどぐち えいじ）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト

生年月日

- 記載内容：「1963年に岩手県花巻市で生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトにて「1963年8月21日、岩手県花巻市生まれ」と記載

学歴

- 記載内容：「千葉大学法経学部を卒業」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトにて「千葉大学法経学部経済学科」と記載

政党遍歴

- 記載内容：「小沢氏の「生活の党」から国民民主党を経て、2020年の新・立憲民主党結党に参加」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipediaにて「2019年4月26日に所属する自由党が国民民主党に合流」「2020年9月15日、旧立憲民主党・旧国民民主党などが合流し、新「立憲民主党」が結成される。木戸口も新党に参加」

2. 数値情報

第24回参院選の年度

- 記載内容：「2016年の第24回参院選」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：第24回参議院議員通常選挙は2016年で正しい
- 根拠・出典：WikipediaとWeb検索結果で確認済み

第26回参院選での敗北

- 記載内容：「2022年7月の参院選では自民党新人の広瀬めぐみ氏に惜敗」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「2022年7月10日実施の第26回参議院議員通常選挙で、自由民主党が擁立した弁護士の広瀬めぐみに敗れ、落選した」

2024年補欠選挙での復帰

- 記載内容：「2024年10月の岩手県補欠選挙で雪辱を果たし、2年ぶりに国政へ再び咲き」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「参院岩手選挙区の補欠選挙は27日投開票され、立憲民主党元職の木戸口英司氏が当選した」

当選回数

- 記載内容：「当選2回」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党公式サイトにて「参議院 / 2期 / 岩手」と記載

3. その他の重要な事実関係

岩手県議会議員経験

- 記載内容：「2003年に岩手県議会議員に初当選し」「2007年の岩手県議会議員選挙に出馬したが、落選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：「2003年、岩手県議会議員選挙に自由党公認で花巻市選挙区から出馬し、初当選した。2007年の岩手県議会議員選挙に出馬したが、落選」

達増拓也知事秘書

- 記載内容：「岩手県知事秘書も務める」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイトにて「達増拓也岩手県知事政務秘書として勤務」

悪質クレーム対策推進法案

- 記載内容：「2019年5月には、同僚議員とともに「悪質クレーム対策推進法案」を参議院に提出」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：法案提出は2019年5月10日で正しいが、法案名は「消費者対応業務関連特定行為対策の推進に関する法律案」（通称：悪質クレーム対策推進法案）
- 根拠・出典：「国民民主党は10日、悪質クレームの被害から労働者を守るため、国全体で悪質クレーム対策を推進する「消費者対応業務関連特定行為対策の推進に関する法律案」（通称・悪質クレーム対策推進法案）を参院に提出した」

政治資金関連活動

- 記載内容：政治資金規正法改正案への関与
- 検証結果：✓正確（記載内容に具体的な誤りは見当たらない）

現在の役職

- 記載内容：立憲民主党所属の参議院議員
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：立憲民主党公式サイトで現職として掲載

改善提案

修正が必要な箇所の一覧

- 法案名の正確性**：「悪質クレーム対策推進法案」は通称であり、正式名称は「消費者対応業務関連特定行為対策の推進に関する法律案」であることを明記すべき
- 当選回数の記載**：記事冒頭で「当選2回」と記載しているが、これは2024年補欠選挙での当選を含めた現在の状況を反映している。時系列を明確にするため、初当選（2016年）と補欠選挙での当選（2024年）を区別して記載することを推奨

追加確認が推奨される情報

記事の大部分は公式情報源と一致しており、重大な事実誤認は見当たりませんでした。ただし、以下の点で追加の確認が有用です：

- 議会での具体的な発言内容**：記事中で引用されている国会での発言については、国会議事録での確認を推奨
- 政策提言の詳細**：各種政策提言の具体的内容について、より詳細な一次資料での確認を推奨

全体的に、記事は信頼できる情報源に基づいて作成されており、大きな事実誤認は少ないことが確認されました。